

MK台座

最大角度20°まで自在にセットできる。
(MK台座専用補剛板)



(建設省 宮崎10号四家地区防災)



永久アンカー工法に画期的な自在支圧台座新登場。

MK台座

最大角度
20°

(特徴)

テンドン軸と定着具(アンカーヘッド・アンカープレート)が
垂直にセットされ、テンドン軸の直線性が確保できる。

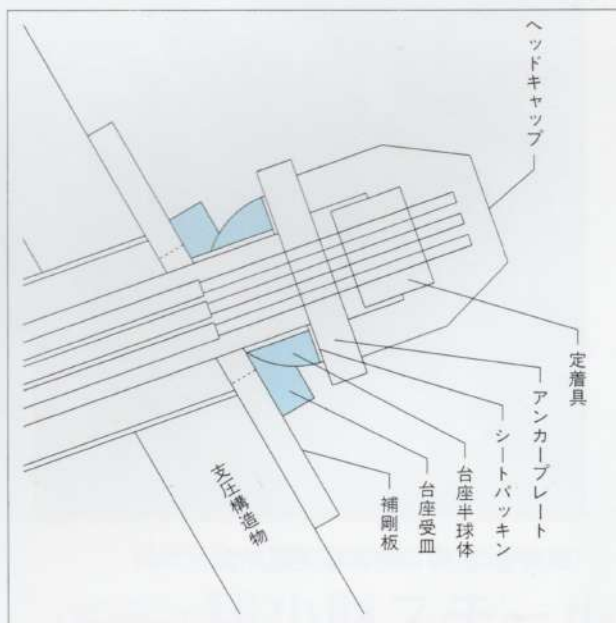
- 360° どの方向にも最大角度20° の範囲に自在にセットできるため各孔毎に角度を計測して固定台座を作らなくてよい。
- アンカー頭部のテンドンの折れ曲がりがなくなり構造物にアンカー力が均等に分布する。
- 円形の亜鉛メッキ処理でコンパクトなため露出したままでも使用できる。
- 構造物の不等変形にも追随し、アンカー軸に垂直にセットできるため二次緊張にも対応可能である。

グラウンドアンカーの施工実績が、急速に多くなり、その有利性と信頼性が増し利用目的も多様化してきている。こうしたなかで平成2年2月に「グラウンドアンカー設計・施工基準」が制定された。

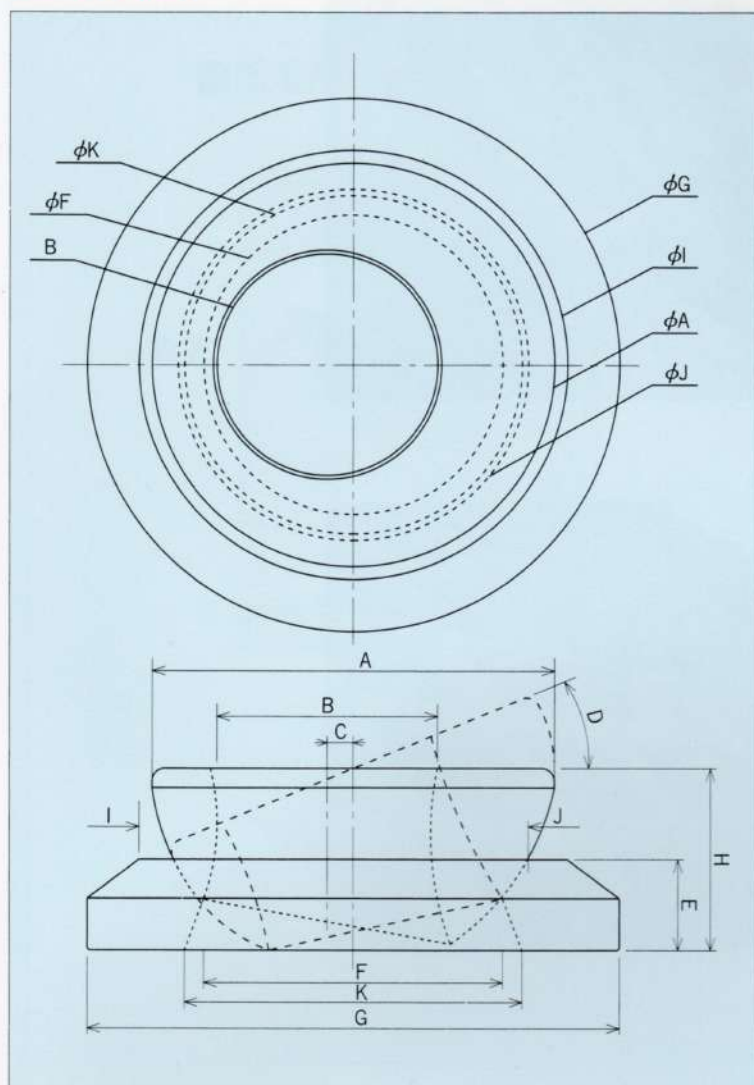
基準解説では、「台座はテンドンから鉛直分力と水平分力を同時に受けるため、アンカーされる構造物に対して応力の伝達を考慮した適切な形状のものを用いなければならない」(基準解説より)としている。

またテンドンは高耐力の反面、曲げやせん断に弱く、緊張時に折れ曲がりが生じた場合容易に破断する。BS基準DD81(イギリス)では、折れ角の基準を鋼棒2.5°、鋼より線5°を許容値としているが、構造物に対して垂直にアンカー打設角度が設計されていても、削孔機械の据え付け、削孔時の機械や足場の移動、切り土面や地山の浮陸による構造物の変形等でテンドンを垂直にセットすることや管理方法も非常に困難である。

こうした問題を解決したのがMK台座である。従来各々アンカー毎に角度を計測し固定台座を作ったり、コンクリート台座にしたり施工上困難をきわめていたが、このMK台座で折れ曲がりやを許容値に収め直線性を確保しアンカー力を有効に構造物に伝達できる。



■寸法図



■寸法表

	A-82型	A-92型	C-110型	C-122型	D-146型
A	150	150	200	200	235
B	82	92	110	122	146
C	10	10	10	10	10
D	(20°)	(20°)	(20°)	(20°)	(20°)
E	35	35	55	55	67
F	110	110	163	163	194
G	200	200	260	260	338
H	69	69	94	94	115
I	160	160	215	215	270
J	133	133	189	189	223
K	126	126	175	175	237

■M K 台座適合規格表

	A-82型	A-92型	C-110型	C-122型	D-146型
SEEE	F20TA F40TA F50TA F60TA	F70TA	F100TA F110TA F130TA	F170TA F200TA	F230TA
	F20UA F40UA F50UA F60UA F70UA		F100UA F110UA F130UA F170UA		
KT B	KS5-2 KM5-2 K5-1H K5-2H K5-3H KL6-2 KM6-2 K6-1H K6-2H K6-3H		KS5-4 KM5-4 KS5-6 KM5-6 KM6-4 KL6-4 K5-4H K5-5H K5-6H K5-7H K6-4H K6-5H	KM5-8 K5-8H KM6-6 KL6-6 KM6-8 KL6-8 K6-6H K6-7H K6-8H	KL6-10 K5-9H K5-10H K5-11H K5-12H K6-9H
スーパーフロテック	SFL-1	SFL-2 SFL-3	SFL-4	SFL-5 ●SFL-7 ●SFL-6	★SFL-8 ★SFL-9
SSL	P300 P400 35M 35W 35CE	35M 70W 65CE	130M 130W		
VSL		E5-2 E5-4 E5-3	E5-5 E5-7 E5-6	E5(6)-8 E5(6)-10 E5(6)-9 E5(6)-11 E5(6)-12	
SHS		S5-3 S5-4	S5-5 S5-6 S5-7	S5-8 S5-9 S5-10 S5-11 S5-12	

※ ●印は C-130、★印は D-150になります。

上記以外のメーカーの場合は御相談下さい。

■MK台座を使用する場合の移動量

- ①補剛板中心とテンドン軸を正確に合わせ固定する。
- ②MK台座の受け皿を次式計算によりずらして据えつけ固定して下さい。

移動量計算式

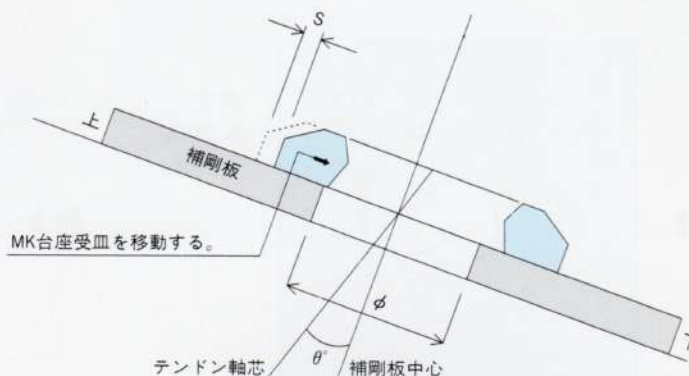
$$A \text{ 型} \cdots S = (69 + t) \tan \theta - 10$$

$$C \text{ 型} \cdots S = (94 + t) \tan \theta - 10$$

ここで、 S … 移動量 mm

t … 補剛板の厚さ mm

θ … 補正角度 mm

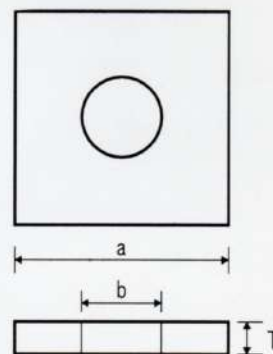


—— MK台座使用の場合の補剛板寸法 ——

$$a \geq \sqrt{\left(\frac{Td}{C \times 0.5} + \frac{b^2 \pi}{4}\right) \times \frac{4}{\pi}} \quad \cdots \cdots (1)$$

$$A \text{ 型の場合} \quad T \geq \frac{a - RA}{3} \quad \cdots \cdots (2)$$

$$C \text{ 型の場合} \quad T \geq \frac{a - RC}{3} \quad \cdots \cdots (3)$$



なおかつ、移動量 S との関係において

$$A \text{ 型の場合} \quad a \geq 19 + 2S \quad \cdots \cdots (4)$$

$$C \text{ 型の場合} \quad a \geq 25 + 2S \quad \cdots \cdots (5)$$

を満足しなければならない。

又、最小寸法を $T = 1.9\text{cm}$ $a = 25\text{cm}$ とします。

a … 1 辺の長さ (cm)

b … ボイド管径 (cm)

C … コンクリート強度 (kg/cm^2)

Td … 引張荷重

T … 補剛板厚 (cm)

RA … A 型受皿外径 = 19cm

RC … C 型受皿外径 = 25cm

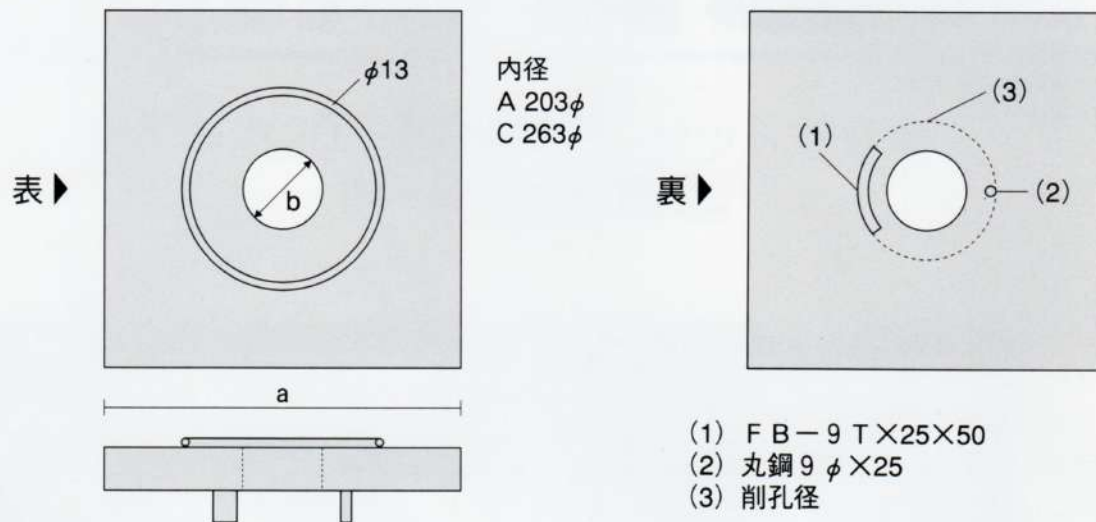
S … 移動量 (cm)

■MK台座取付手順と注意点

MK台座受皿と半球体を同時に取り付ける。半球体面をテンドン軸に垂直にし、さらにテンドン軸と半球体中心を一致させる。軸の大きいズレがあると半球体面に回転力が働きテンドンに損傷を与える可能性があります。又受皿を補剛板上で移動量 (S) だけ移動させる。緊張定着時に構造物の変位等が予想される場合は小さい荷重ではずれる程度の点溶接を行いラムチャーやジャッキの孔芯とテンドン軸が一致するように丁寧に行う。(MK台座は鉄製品ですので溶接できます)

定着時に便利な補剛板

■固定用(特注品)



※固定用は13φ×(A203φ C263φ)の位置を調整角度により移動(S寸法)させて溶接しますので御用命の折調整角度をお知らせ下さい。

裏側の削孔径 (3) と合せて、辺長×厚さ×穴径をお知らせ願います。



[営業品目]

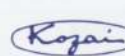
- | | | | |
|------------|-----------------------|--------------------|-----------|
| ●溶接金網 | ●じゃかご | ●落石防護網(ロックネット) | ●ロックボルト |
| ●異形鉄筋溶接金網 | ●フトンかご | ●落石予防工(ワイヤネット) | ●GE2-フェンス |
| ●CDメッシュ | ●ジャンボじゃかご | ●落石防止柵(ストンガード) | ●獣シリーズ(猪) |
| ●鉄線 | ●KSかご枠 | ●Kフレーム | ●クリンプ金網 |
| ●スパイラルフープ筋 | ●ひし形金網 | ●簡易フレーム(ワンタッチフレーム) | ●きつ甲金網 |
| ●閉鎖型フープ筋 | ●ラス網用スペーサー(クイックスペーサー) | ●MK台座 | ●平織金網 |
| ●かごマット | ●各種スペーサー | ●SKヘッドキャップ | ●各種アンカー |

■日本アンカー協会会員

■かごマット工法技術推進協会正会員

■取扱店

国土交通大臣許可(般)第17452号



株式会社 小財スチール

本社	〒810-0022	福岡市中央区薬院三丁目3番33号	☎(092)522-0002
南九州支店	〒892-0822	鹿児島市泉町11番14号第3丸福ビル3F	☎(099)223-8440
宮崎営業所	〒880-0875	宮崎市曾師町72番2号	☎(0985)28-5658
福岡第1工場	〒830-1113	久留米市北野町中宇寺田636-1	☎(0942)78-3758
福岡第2工場	〒830-1113	久留米市北野町中宇下厨子田1400	☎(0942)78-3757
大刀洗工場	〒830-1212	福岡県三井郡大刀洗町大字甲条924-1	☎(0942)77-5551
南九州工場	〒889-4302	宮崎県えびの市大字末永字陣ノ迫2343-1	☎(0984)33-3085